

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立下有知小学校		
実 施 期 間	平成26年9月24日(木)～11月28日(金)		
実 施 概 要	① 地域文化祭への出品と開会式での青少年健全育成標語の授賞 ② 親子ふれあい行事「ぎんちゃん広場」の実施 主に地域の講師を招いての講座の実施 ③ 地域の農家・商店への調べ学習(2・3年) ④ 学校公開日の設定 フリー参観の呼びかけ ⑤ 生活科・総合的な学習の時間での野菜や米の収穫(2・3・5年)地域の敬老会の方とともに実施 ⑥ 小中合同で行う地域美化活動 小中の児童生徒が学校、家庭、地域で行うボランティア活動		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約 700人	計 約 780人
	地域関係者	約 80人	
実 施 状 況	① 校区のふれあいセンター主催の文化祭へ、全学年から絵画、習字、夏休みの作品等を出品したり、5年生が栽培した菊を展示したりした。また、下有知青少年健全育成協議会主催の安全・あいさつ標語の表彰式を行い、大変多くの参観者でにぎわった。 ② 全校で親子のふれあいができる行事「ぎんちゃん広場」を実施した。PTAの実行委員が中心となって地域や保護者の方々に講師を依頼し、9つの講座を設け、軽スポーツやサイエンス工作など、普段はなかなか体験できないことを楽しみながら親子で学ぶことができた。 ③ 2年生や3年生が生活科や社会科の授業として、「まちのじまん」、「校区の特色」を学習する際に、地域の農家、商店や神社などを訪ねた。見学を通してまちのよさを発見したり、インタビューをして商店の工夫や農家の努力について学んだりすることができた。 ④ 半日フリー参観日と学校公開日を同日に設定し、保護者やその家族、地域の方々に、学校だよりを通して知らせるなどして広く参観を呼び掛けた。参観者の都合のよい時間に来校することができたので、大変多くの参観者が訪れた。 ⑤ この期間に2・3・5年生が生活科や総合的な学習の時間で栽培してきた野菜や米を地域の敬老会の方々、JAめぐみの農協の職員の方々と共に収穫した。収穫の後は、お年寄りから、豆のさやから種を取るやり方を学んだり、収穫祭のための調べ学習を進んで行ったりすることができた。 ⑥ 下有知青少年健全育成協議会と小中学校が中心となって、区長会、自治会、敬老会、民生委員、地域の協力を得てボランティア活動「ふれあい活動」を推進した。また、その活動の一つとして、5・6年生と中1が合同で、グループに分かれ、下有知地区の公共施設等の清掃活動を行い、大変意欲的に取り組むことができた。		

成果及び課題

- 昼休みまでを学校公開としたことで、様々な場面での参観をすることができて、児童の学校生活の様子について理解を深めることができた。
- 全校で親子がふれ合える活動を設定したことで、親子で共に活動することの楽しさを味わうことができた。「来年もぜひ、ぎんちゃん広場をやってほしい。」という意見が多く上がった。
- 「ふれあい活動」を立ち上げたことで、子どもたちのボランティア意識が高まり、進んでよいことを行おうという意欲的な姿が見られるようになった。
- 「ふれあい活動」の一つとして、小中合同の地域清掃活動を行ったが、平日であったこともあり、地域の方々の参加は少なかった。現在、下有知青少年健全育成協議会が休日に行っている地域清掃活動をこの活動と兼ねて行い、地域と学校が協力して行える活動を工夫していく必要がある。

(成果○・課題●)